

”「なつこ」を素材にシルク商品化”について知事に報告します

近年の夏の猛暑でも丈夫に育つ蚕「なつこ」は、令和2年に初めて県内農家で実用飼育され、品質の良い繭が出荷されました。

県では、「なつこ」の一層の普及を図るため、「なつこ」（生糸）の需要開拓と商品化を進め、この度、県内加工業者とアーティストの共創により、シルクの魅力を肌で感じられるマフラー等が商品化され、この取組の知事報告が行われます。

1 日 時

令和3年3月17日（水）午前11時～（約20分間）

2 場 所

県庁舎6階 秘書課第1応接室

3 内 容

- (1) 新商品の贈呈
- (2) 新商品開発の説明
- (3) 知事コメント
- (4) 歓談

※ マスコミ取材は、知事コメントまでとさせていただきます。

4 新商品開発者

- 企画加工・商品化： 有限会社ミヤマ全織 代表取締役 長竹 敏次（みどり市）
- アート&デザイン： 現代美術作家 竹村 京（高崎市）

※参考データは、次ページ

〈参考データ〉

◆「なつこ」を素材にシルク商品化の経緯

- ① 平成24年 群馬県蚕糸技術センターにおいて耐暑性蚕品種の育成を開始
- ② 令和元年10月 9番目の群馬オリジナル蚕品種として認定
- ③ 令和2年1月 群馬県知事が「なつこ」と命名し、記者発表
- ④ 同 8月 前橋市及び富岡市の養蚕農家9戸が「なつこ」を実用飼育・繭出荷
- ⑤ 令和3年2月 「なつこ」(生糸)を素材に、アートを乗せたシルク製品を商品化

◆開発したシルク商品

- ① お散歩マフラー (サラッとした肌触りと優れた保温・吸湿性で一年を通して使用可+アート&デザイン)
- ② シルクマスク (絹の光沢感を最大限に引き出し、肌に優しく、調温性や臭いを抑える効果も期待できる)



お散歩マフラー



トランプ図像のアート&デザイン



お散歩マフラー (カラーバリエーション)



シルクマスク